

平成25年度 第1回 北海道代協 組織委員会 議事録

日 時：平成25年4月5日（金）14:00～17:00

会 場：北海道代協事務所

出席者：伊藤委員長（札幌）、寺田副会長（旭川）、川口（札幌）、高橋（室蘭）、星（旭川）、木下（小樽代理）、若林（苫小牧）、玉山（千歳）、西川（函館）、阿部（釧路）、深井（帯広）

【議事】

1. 出席者・資料等確認

2. 委員長挨拶

一年間委員会活動に御協力ありがとうございました。2月3月のキャンペーンは5支部が年初の自主目標を達成し、日本代協目標527店もクリア、最終的に会員541店になった。これは北海道代協始まって以来の快挙だった。今年度は600店を目標とし、早く組織率50%を目指したい。

3. 担当副会長挨拶

2月3月キャンペーンありがとうございました。札幌の増加数に驚いている。今年度も各支部で1店でも多く積極的に会員増強の話をして欲しい。

4. 議事録作成者指名／若林 徹

【報告事項】

1. 入会報告・退会報告

- ・ 札幌・旭川・苫小牧・函館・帯広支部が年初の目標を達成。
- ・ 日本代協目標527店を越え、目標増加数が全国で1位。
- ・ 増店数は59店で、全国で2位。

2. 国民年金基金

- ・ 北海道代協全体で1件（札幌支部）の加入
- ・ 会員からの意見・要望・疑問を集約し、制度のメリット、デメリットを明確化する。

【審議事項】

1. 平成24年度総括

1 会員増強

キャンペーンの際、新入会員連れてき隊が中心となり、会員増強新規59店と大躍進を遂げた。

札幌一幹事全員で各保険会社を訪問、チラシを作成使用し会員増強の協力をお願いした。1枚もののチラシが使い易く効果的だった。2,3月で23店、通年で30店と自主目標を達成した。正直出来ないと思っていたがやり方次第で

出来るかと驚いている。今年度も同じように取り組みたい。

委員長－1月の幹事会に連れてき隊メンバーに入会候補代理店を記入してもらい、保管。2月後半、進捗を追跡確認する活動をしたところ、入会が急激にアップし、目標達成に繋がった。

旭川－入会の案件があればすぐに対応できる体制にし、保険会社の協力もあり15店の自主目標を達成できた。

また皆で協力してやっていきたい。毎日のFAX・メールの速報が効果的だったと思う。

小樽－最近支部活動自体が不活発だ。支部長自身も勧誘しているが、防戦一方だった。今後は保険会社の合併により繋がりができる代理店に話をしていきたい。

委員長－支部の統廃合についてはどのように思うか？

札幌支部の会員になって刺激を受け、もう一度という新しい方法も必要かもしれない

千歳－プラス2店という目標でやってきたが19店のままとまっている。専門がなかなかないので、自動車整備工場に話をするが賠償保険の話をしてピンとこない様子だ。今年度も引き続き頑張りたい。

函館－支部役員の若返りもあり、新規加入と同時に退会も最低限に抑えられ自主目標2店を達成できた。FAX・メールでのプレッシャーもよかった。

国民年金基金はなかなか厳しい状況であった。

釧路－4店増加で自主目標まで1店及ばなかった。日本興亜、損保ジャパンからの紹介があった。増店は整備工場で、代理店賠償でニーズを引き出した。会費未納の代理店に話しを聞くと、メリットがないと言われるケースが多いので対策を考えた方がいいのでは。

帯広－4店加入で自主目標はクリア出来たが支部内での会員増強の意識が薄いので、同じ気持ちで勧誘できるようにしていきたい。会員を増やすのは自分たちの為であり、会として認められる為にも増やしていきたい。保険会社の協力も受けながら頑張りたい。

苫小牧－2店増加という結果で終わった。前回の組織委員会以降、保険会社の協力的な行動が多くなった。支部長、幹事の協力でプラスにすることが出来た。今年度も引き続きがんばりたい。

2 国民年金基金

各支部1件計9件の目標に対し、1件(札幌支部)の加入あり。

制度の理解を深めるため、会員からの質問・意見・要望等を函館支部作成のアンケートを利用し集約する。各支部で総会シーズンに向けてアンケート調査を実施し次回組織委員会開催までレポートし、本部に問合せの上回答頂き会員に情宣する。

函館支部西川委員作成のアンケートを参考に各支部にて作成するよう配布する。

2. 平成25年度事業計画について

① 会員増強

- ・ 目標 600 店(平成 25 年 3 月末実績 541 店)

◎今年度は新規加入数を目標とする。

札幌 45 店、室蘭 3 店、旭川 15 店、小樽 3 店、苫小牧 3 店、
千歳 3 店、函館 2 店、釧路 7 店、帯広 4 店、合計 85 店

- ・ 合併代理店、使用人の一般会員登録の促進

② 会の活性化

- ・ 支部エリアの見直し
- ・ 各行事・イベントの参加率アップ
- ・ 新役員の積極的登用(多選防止、入替の努力)
- ・ 睡眠会員(恒常的不参加非協力等)の実態調査
- ・ 年一度北海道代協会員全員参加型のセミナー開催も視野に入れる

③ 国民年金基金の加入促進

- ・ 制度の理解を深め、優位性と維持の必要性を情宣

④ 新年交礼会の開催

- ・ 札幌支部が準備実行の中心とする
- ・ 開催は毎年 1 月第 3 金曜日とする(平成 26 年 1 月 17 日)

3. その他

- ・ 今回以降、会議終了後は有志による情報交換会を開催し、委員間の親睦を図る。
- ・ 議事録作成者は次回の書記を指名し、次回は西川氏（函館）となった。